

平成29年度ヘルスプランぎふ21推進会議 議事概要

- 1 日時 平成29年9月1日(金) 13時30～15時30分
- 2 場所 岐阜県庁議会東棟 第2面会室
- 3 出席者 12名

	団体名	委 員		
		職名	氏 名	備 考
1	岐阜大学	名誉教授	岩田 弘敏	
2	岐阜県医師会	会長	小林 博	欠席
3	岐阜県立看護大学	教授	会田 敬志	
4	朝日大学	教授	磯崎 篤則	
5	食育推進会議	委員長	道家 晶子	
6	地域職域連携推進部会	部会長	上村 博幸	
7	岐阜大学	教授	春日 晃章	欠席
8	岐阜県地域女性団体協議会	副会長	三輪 やよい	
9	岐阜県国民健康保険団体連合会	常務理事	近田 和彦	
10	岐阜労働局労働基準部	労働基準部長	唄 繁樹	
11	岐阜県学校保健会	副会長	谷口 邦彦	
12	市町村保健活動推進協議会	保健師部会長	高木 千春	
13	岐阜県保健所長会	会長	竹腰 知治	
14	岐阜県精神保健福祉センター	所長	丹羽 伸也	

4 事務局 4人

1	保健医療課	課長	稲葉 静代	
2		保健企画監	山田 しのぶ	
3		係長	柘植 利伸	
4		技術主査	二村 真紀	

■委員長選出

- ・委員互選により岩田委員選出

■報告事項

- (1) ヘルスプランぎふ21について
  - ・第2次ヘルスプランぎふ21の評価について
  - ・第3次ヘルスプランぎふ21骨子(案)について
- (2) その他 岐阜県保健医療計画について

## ■議事

- ・生活習慣病に関する死亡率は減少傾向。取組の成果であるかを評価することは難しいが、地道な努力の継続は今後も必要。
- ・評価項目において悪化した（改善が見られなかった）項目について、次期計画で同様に普及啓発を行うのか。環境整備が必要ではないか。
- ・学校教育では、薬物指導の中に喫煙も含めて指導しているほか、日常的な指導を行っている。
- ・職場の受動喫煙防止対策として全面禁煙や分煙を実施する事業所が増えている。
- ・「ヘルスプランぎふ21」が認知されていない。普及についての検討が必要。
- ・「ヘルスプランぎふ21」の位置づけの整理が必要。県、保健所、市町村、国保連合会等、様々な機関で健康づくり事業を行っている。
- ・各種団体の取組みと整合を取る必要がある。
- ・第3次計画の取組み方針が抽象的にならないよう具体的な内容にすること。
- ・地域間の健康格差の是正に向け、健康状態に関する市町村ごとの値（受診率・死亡率等）をもとに、良い結果が出ている地域の取組みを参考にしているかどうか。
- ・地区組織活動を新たに作る事が難しい時代になってきた。
- ・食育については、家庭だけで補えないところを学校・地域で助け合っていくことが今後は必要。企業等に行政が強制的な働きかけをすることは難しいが、環境を整えるための指標を示すことで取組みにつながらないか。
- ・子どものう歯は改善。高齢者は口腔機能の維持増進することを目標としているかどうか。
- ・特定健診の受診率の低さは認識している。特定保健指導については、重点地区を決めたり、戸別訪問等に取り組み成果が出ている。無関心層への働きかけや行動変容に結びつけることが難しい。
- ・こころの健康に関しては、精神科受診率が増えて医療につながることは良いことと捉える。
- ・健康格差を縮小するための社会環境の整備が大切。

## ■結果

- ・第2次ヘルスプランぎふ21の評価、第3次ヘルスプランぎふ21の方向性について意見を聴取することができた。ヘルスプランぎふ21の改訂作業に反映し、次回推進会議において検討を行う。